

令和6年度
事業計画書

令和6年4月 1日

令和7年3月31日

令和6年度 公益財団法人 庄内地域産業振興センター 事業計画書

〔基本方針〕

山形県内の経済は、最新の山形県内経済情勢報告（山形財務事務所）によれば、消費の増加や一部の生産活動の堅調さにより、経済は緩やかに回復しているとされています。

しかし、雇用・所得環境の改善の遅れ、物価の上昇、市場の変動リスクには十分な注意が必要です。

こうした中、当センターでは、人材不足と育成やデジタルトランスフォーメーション（DX）への対応など、現在の社会情勢や企業ニーズに応じた支援を展開します。さらに、関係する自治体や産業支援機関と協力しながら、地域の中小企業や小規模事業者が直面する様々な経営課題の解決を支援し、庄内地域および山形県産業の成長と発展に寄与します。

（重点事項）

1. 新たな価値創造に取り組む企業活動や創業への支援

経営革新と生産改善を目指す地域企業、そして独創的なアイデアで創業を目指す起業家を支援するため、起業・経営セミナーと各種相談会を通じて、企業の成長を支援します。また、デジタル変革（DX）を推進し、電子商取引（EC）やソーシャルネットワーキングサービス（SNS）を活用したデジタルマーケティングや販売促進のための実践型セミナーを、山形県よろず支援拠点と連携して行い、新しい商品やサービスの創出に取り組む企業を支援します。更に、ものづくり現場の生産改善等の相談・指導やその事例発表会の実施を通して、地域企業の競争力と生産性の向上を支援します。

2. 企業競争力向上・変革に対応できる産業人材の育成

地域企業の産業の基盤技術向上と課題解決力の向上を目的として、企業の従業員を対象にした「職業能力開発講座」を開講していきます。階層別研修、ビジネス実務、生産改善、品質管理、コミュニケーション能力、問題解決力向上など、ビジネス環境の変化に対応した人材育成プログラムにより、地域企業の経営革新や新規事業推進に貢献する産業人材の育成を支援します。

3. 産学連携によるバイオテクノロジーを活用した研究開発の促進と事業化の支援

慶應義塾大学の先端生命科学研究所、山形大学の農学部が持つ革新的なバイオテ

テクノロジーの研究、県内公設試験研究機関技術力を基に、地元企業のバイオ産業の新たな創出を目指し、県内企業のニーズと大学等研究機関の研究シーズのマッチングを図り、産学官共同研究等の促進による研究開発と、革新的な製品開発と市場導入に努め、付加価値の高い事業展開を支援します。また、国立がん研究センターと共同で進める、メタボローム解析技術を駆使したがん研究と、地域医療モデル構築を目指して国立がん研究センター東病院と荘内病院の連携を推進していきます。

加えて、中小企業等が大学、公設試験研究機関等の研究機関と連携して行う、経済産業省の成長型中小企業等研究開発支援事業（Go-Tech 事業）の事業管理機関として、ものづくり基盤技術及びサービスの高度化に向けた研究開発及び事業化の取組を支援します。

4. 公の施設の管理運営・利活用の促進

指定管理者として運営している公共施設の適切な管理運営を行います。利用者の多様な要望に応えるべく、デジタル環境の整備をはじめとしたサービスの向上に努め、施設利用の促進を図ります。また、自主企画事業での活用に加え、企業研修やセミナー、情報、技術、文化の各分野での利用と交流の促進により、施設の有効活用と、地域産業の振興及び地域社会の活性化を目指します。

I 公益目的事業

1 企業経営力強化支援事業（事業費 14,618 千円／鶴岡市・財団）

1-1 経営サポート・新事業支援事業（9,129 千円）

独創的な技術・独自のアイデアによる起業や経営革新・生産改善をめざす地域企業に対し、山形県よろず支援拠点庄内サテライトと連携した経営課題解決セミナーや専門のアドバイス等を行うほか、将来のビジネス創出に向けて戦略的かつ発展的な経営を目指す企業活動を支援する。

（1）経営実践セミナー等の実施

地域中小企業・小規模事業者の持続的な成長と収益力向上のため、経営幹部等を対象とした経営セミナー、顧客価値の変化に対応したEC化、DX化を推進する実践的セミナーや相談会等を山形県よろず支援拠点、金融機関・支援機関等と連携協力を図りながら共催し、地域企業の事業創出、課題解決に対し効果的な支援を行う。

- 経営計画書作成講座（1回）
- SNS活用集客実践会（2回／山形県よろず支援拠点連携）
- 中小企業DX推進セミナー（1回）
- 物販×CF実践会（1回／山形県よろず支援拠点連携）
- 経営課題解決相談会（1回／鶴岡信用金庫・山形県よろず支援拠点連携）

（2）起業応援セミナー等の実施

鶴岡市の創業支援計画に基づく創業支援事業者として、地域の起業促進、起業マインド醸成のため、起業予定者を主な対象として、事業戦略・マーケティング・戦略会計等、起業に必要な実践的なスキルや情報を提供する「起業応援セミナー」を定期的に実施する。

- 起業応援セミナー（3回／7月、10月、2月）

（3）改善指導コーディネーターによる製造業の生産改善相談・指導

生産性向上、省力化といったものづくり企業のニーズに対し、コーディネーターが課題抽出と改善指導を行い、ものづくり企業の競争力向上を支援する。

（4）地域企業による改善活動事例発表会の開催

ものづくりの現場で積極的に改善活動に取り組む企業の事例発表や参加者の意見交換による持続的な現場改善の機運醸成のため、改善事例発表会「私のかいぜん発表会」を開催する。

1-2 起業家育成施設事業者・創業予定者への経営相談・助言（5,119千円）

起業家育成施設入居事業者及び入居希望者への経営課題解決のアドバイスや山形県よる支援拠点等の専門家による販路開拓指導等の支援を行う。また、同施設内のコワーキングスペースにおいて、起業予定者・ビジネスパーソン等を対象とした起業・ビジネスに関するワークショップ、夜間相談会等を実施し、起業気運醸成とビジネス課題解決に向けた支援を行う。

- 起業・ビジネス夜間相談会（6回／日本公庫と連携）
- ミニセミナー「BizCafe」（ビジネス読書会、マネジメントゲーム等）

1-3 企業間・産学交流連携促進事業（370千円）

経営者の相互交流による経営革新・取引連携の促進を目的に、時勢に即したテーマによる経営セミナーを実施する。

2 産業人材育成事業（事業費 15,967千円／鶴岡市・財団）

2-1 企業立地産業人材育成事業（869千円）

ものづくりの現場で中核となる人材育成を目的に、製造現場の生産性・品質向上等の体系的な研修を実施する。

（1）生産管理者・生産改善研修の実施

- 品質管理・生産性向上に関する講座 7講座 定員 140人

2-2 職業能力開発講座事業（15,098千円）

職業に必要な技術、技能及び知識を習得する各種の教育訓練や研修等の機会を提供し、地域の企業で働く方々の職業能力開発と一層のレベルアップ、キャリア形成を促進することにより、地域企業の組織活性化、生産改善、新事業展開、経営革新に向けた取り組みのリーダーとなる産業人材の育成をめざす。

（1）職業能力開発講座の実施

- 階層別講座（若手社員～管理者） 4講座 定員 80人
- 資格取得準備講座（機械保全技能検定） 1講座 定員 20人
- 職能別スキル向上講座（ビジネススキル等） 12講座 定員 220人

（2）新社会人就職スタートセミナー等の実施

就職が内定した高校3年生を対象に、新しい職場への定着をはかり、社会生活に必要な基本的知識、ビジネススキル、生活設計等を習得する新社会人就職スタート

セミナーを実施する。

3 産学共同研究等促進支援事業（事業費 276,967 千円／国・山形県・鶴岡市・財団）

3-1 バイオクラスター形成促進事業（245,967 千円）

山形県バイオクラスター形成推進会議（会長 山形県知事）の事業推進機関として、慶應義塾大学先端生命科学研究所（慶應先端研）、山形大学農学部や県公設試等の先導的なバイオ研究シーズを活用した共同研究プロジェクト創出による地域活性化をめざし、産学官連携のコーディネート、バイオサイエンスセミナーや県内企業のバイオ研究開発の促進と新規事業化・事業拡大の取組を支援する。また、国立がん研究センター、慶應先端研のがんメタボローム共同研究の推進及び新たながん地域医療モデルの構築へ向けた取組を支援する。

（1）産学官共同研究コーディネート活動の実施

慶應先端研及び慶應先端研発ベンチャー企業と県内企業の共同研究による商品開発・新事業創出のため、専門のコーディネーターを配置し、慶應先端研の研究シーズの県内企業への紹介、企業の事業化ニーズの調査や産学官の共同研究推進等のコーディネート活動を行う。

（2）産学官研究交流事業の実施

バイオ関連産学官の連携基盤形成とバイオテクノロジーを活用した産学官連携による共同研究創出のため、産学官の共同研究成果を紹介する「バイオサイエンスセミナー」を開催する。

（3）共同研究シーズ事業化支援事業

慶應先端研及び慶應先端研発ベンチャー企業の研究シーズを活用した県内企業の事業化を促進するため、慶應先端研等と県内企業の共同研究及び事業化に向けた具体的な取組を一貫して支援する。

- 共同研究シーズ高度化支援助成事業（シーズ探索型・事業化推進型）

（4）がんメタボローム研究推進支援事業

メタボローム解析技術を活用したがんの研究を推進し、研究成果を活用した地域振興を図るため、国立がん研究センター、慶應先端研が共同で推進する国立がん研究センター鶴岡連携研究拠点のがんメタボローム研究の深化と、がん研究・診断を基盤としたがん地域医療モデル構築のためのプロジェクトを支援する。

- 2つの研究プロジェクト（代謝物解析研究・がん遺伝子産物解析研究）
- 造血器腫瘍研究会の開催（11月）

3-2 中小企業等研究開発プロジェクト推進事業（31,000 千円）

ものづくり基盤技術の高度化を目的に法律に基づく認定計画を受けた中小企業者等が大学等と連携し、事業化に向けた研究開発等の取組を国が支援する成長型中小企業等研究開発支援事業の事業管理機関として研究開発プロジェクトを推進する。

- 「統合シーストレスキャピラリー電気泳動質量分析システムの開発」(R4～R6年度)
※研究体制 インセムズテクノロジーズ(株)、慶應義塾大学、(株)飯塚製作所

4 伝統工芸技術等伝承・活用促進支援事業（100 千円／鶴岡市）

地域伝統工芸のひとつである「竹塗り漆器」の振興と技術伝承のため、鶴岡竹塗り同好会の研修活動を支援する。

II 収益事業

1 施設管理運営事業（事業費 9,867 千円／鶴岡市）

起業家支援・産業人材育成等の拠点施設である鶴岡市庄内産業振興センターの指定管理者として、各施設・設備の貸出業務、維持管理等の運營業務を行う。また、起業家育成施設(スモールオフィス・コワーキング)では、各種支援事業を積極的に展開することで、起業間もない事業者の入居を促進し事業の立ち上げを支援する。

III 法人運営事業（事業費 12,183 千円）

公益財団法人として、関係法令を遵守し責任ある法人運営に努めるとともに、働き方改革を念頭に、限られた職員体制の中での効率的・効果的な事業執行のため、クラウドサービスの活用等による業務プロセスのデジタル化に努める。また、企業活動に有益な情報を受発信し、財団の認知度と利用者の満足度の向上を図る。